

# 家族で子育て

## 32 Q&A



### Q

小学2年の息子は母親に頼り過ぎで、父親の私が厳しく言っても改まりません。どうすればいいですか？

お父さんの趣味や家の仕事などに子供さんを引き込んで、まずは一緒に過ごす時間をつくってみましょう。

### A

#### 低学年まで母性的関わり

どのような場面で母親の手を取り過ぎていると感じるのか、単に子供さんが生活のスキルとして未熟なのであれば、一つずつ教えればいいでしょう。

できるのに自分でやらない場合は、親の関心を引きたいのかもしれない。学校や友達との関係、兄弟がいれば兄弟関係で不安や不満はないでしょうか。

親が子供のやることを先回りするのは控えなければなりません。低学年ぐらまではまだ母性的な関わりが必要です。「甘やか

してはいけない」と、親が子供の甘えを許さなかったり、弟妹がいるなどして親に甘えられる環境がなかったりすると、子供はがまんしてしまいます。

甘えて親に抱きついたり、ときには親を困らせたりして、親に受け入れられると、愛されていると感じるのです。これは自分に自信を持ち、自立していく上で欠かせないプロセスです。

#### 父親の存在を感じる

子供が小さいうちは、母親を介して関わることが多く、妻の悩みを聞いて手助けするのもお父さんの役目です。思春期

になつて、いきなり「お父さん、出番ですよ」と妻に言われても戸惑います。だからといって、「おまえが甘いから」などと妻に言うのも外れです。そうならないために、普段から息子さんと関わるよう心掛けましょう。

趣味や家庭内の仕事を一緒にするのでもいいでしょう。厳しいことを言いそうで「何を話していいか、わからない」と心配しなくても、子供は父親と一緒にいることがうれしいはず。時間を共有することで、通じるものが生まれます。特に思春期を迎えると、夫婦連携で子育てに臨むことが大切になります。